



company ma

第4回公演

構成・演出
大谷 賢治郎

カバ・中記

2018年9月

15日(土) 17:00 開演

16日(日) 11:00 / 15:00

17日(月) 祝 11:00 / 15:00

* 開場は開演30分前

川崎市アートセンター
アルテリオ小劇場

か(ん)こ(ん)中(の)記憶(も)も(お)く

出演

大谷恵理子

原田亮

森山蓉子 (以上 company ma)

庄崎真知子 (劇団銅鑼)

片山千穂

勝山優

長原茉穂

石川湖太郎

安達原旭

音楽——青柳祐次
 題字——平野甲賀
 照明——鷺崎淳一郎 (ライティングユニオン)
 美術——大谷賢治郎
 衣装——大谷恵理子
 振付——大谷恵理子・森山蓉子
 音響——坂口野花
 舞台監督——野口岳大
 チラシデザイン——奥秋生
 制作——田事務所・安達原泉
 提携——川崎市アートセンター
 後援——NPO 法人 しんゆり・芸術のまちづくり
 主催——NPO 法人 KAWASAKI アーツ
<http://kawasakiarts.org/>

構成・演出——大谷賢治郎

かつて子どもだった「記憶」を持つ大人たちへ
 これからたくさんさんの「記憶」を刻む子どもたちへ

MESSAGE——演出家より

僕が通った小学校では「平和教育」というものがあった。それは3年生のときに始まり、米軍が撮影した広島や長崎の原爆被爆者の映像を見たり、沖縄戦について学んだり、6年生のときには広島を訪問、被爆者から話を聞いたりするものだった。それらの経験はいまだに強烈に覚えている。

いま、ずっと続いてきた戦後が、「戦前」になり始めているという声を耳にすることがある。そんな中、一枚の写真に出会った。原爆が投下された長崎で、死んだ赤ん坊を背負う少年の写真だ。米軍従軍写真家、ジョー・オドネル氏が撮った写真で、彼が撮影後50年間ずっとトランクにしまったまま封印されていったものだ。ローマ法王はこの写真「焼き場に立つ少年」を昨年末、世界に発信した。

「戦前」とされる今、「平和教育」を小学生のときに受けた僕が、「未来」を生きている子どもたちに演劇を通してできること。その模索をするべく、オドネル氏のトランクに封印された写真の「記憶」にヒントを得て、若きアーティストたちとともに台本のないところから、オトとコトバ、ダンスと身体表現を融合させた company ma 特有のパフォーマンス作品を創造している。

それぞれの記憶を辿りながら、それぞれの記憶と向き合いながら、そして戦争のない、笑顔あふれる未来予想図を描きながら。

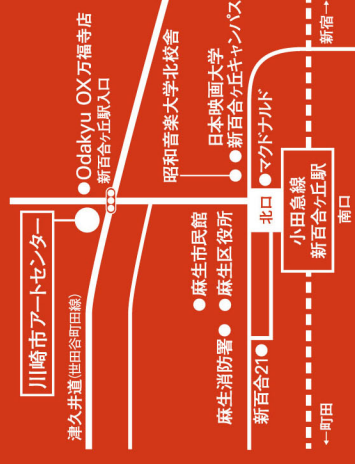
company ma 主宰・大谷賢治郎

TICKET

チケット
 全席自由・税込 発売日——2018年7月1日④
 一般——3,500円 大学生——2,500円 中高生——2,000円 小学生以下——1,000円
 3歳以下はひびき上1名無料 当日券500円増 団体割引・障がい者割引あり(劇団にお問合せください)

RESERVATION

チケット予約
 ウェブ こりっち——http://stage.corich.jp/stage_main/75223
 メール company ma——tickets@company-ma.com
 電話 NPO 法人 KAWASAKI アーツ——044-953-7652 (月～金 10:00-18:00)



VENUE/ACCESS——会場・アクセス
 川崎市アートセンター
 アルテリオ小劇場

小田急線新百合ヶ丘駅北口より徒歩3分

<http://kawasaki-ac.jp/th/>

〒215-0004 神奈川県川崎市麻生区万福寺 6-7-1
 TEL 044-955-0107 FAX 044-959-2200

company ma 劇団「間」

〒108-0074 東京都港区高輪 2-10-15 TEL・FAX 03-3473-2848

WEB <http://company-ma.com> MAIL info@company-ma.com

しんゆり・芸術のまち

NPO 特定非営利活動法人
 HAWASAKI P-11